



救急車を

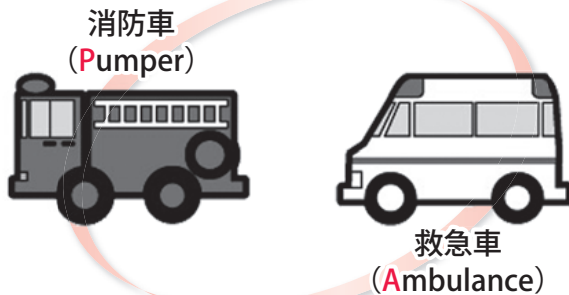
呼んだはずだけど...

救急現場に消防隊も出動します

「救急車を呼んだのに、消防車が来た！」とビックリされる場合があるかもしれません。

これは、近くの救急車が出場中の場合や、近隣消防署の救急車が到着するまでの間などに、先に到着したポンプ車隊員が、傷病者の救護や救命処置などを迅速かつ確実に行うことで救命効果を高め、一人でも多くの命を救うことを目的として行っております。

これを「PA連携」といいます。



PA連携とは、救急現場において消防隊と救急隊が連携して救急・救護活動などを行うことの総称です。消防ポンプ車 (Pumper) と救急車 (Ambulance) の双方の頭文字から「PA」として、全国の消防本部において広く使用されている用語です。

119番通報を受信した

時点で、階段や通路が狭く、傷病者の搬送が難しいとき、交通量が激しい場所などで傷病者や救急隊員の安全を確保する必要が有的时候や救急隊員だけでは対応が困難と判断した場合などに、救急活動を支援するために消防隊を出動させる連携活動を行っております。

サイレン音が違います

消防車が緊急に出場するときのサイレン音を区分して使用しています。



火災出場のとき.....ウーカンカンカン (サイレン音と警鐘の併用)

火災以外のとき

・PA連携出場 ・救助出場ウーウー (サイレン音のみ)
・警戒出場 ・水防出場 など

救急車の適正利用を

近年、救急車の出場件数・搬送人員数はともに増加しており、救急隊の現場までの到着時間が遅くなっています。また、救急車で搬送された人の約半数が軽症と診断されています。

救急車は本来、命にかかわるような病気やケガの人を一刻も早く病院に搬送する必要がある場合に利用するものです。重症者への救急対応が遅れ、生命に危険を及ぼす心配があることから、緊急性のない場合は自家用車などを利用するようお願いいたします。

問合せ▶高崎市等広域消防局警防課 (☎324-2216)